

平成 29 年 2 月 日

各 位

富山県工業技術センター  
所 長 鳥 山 素 弘

平成 28 年度ものづくりバトンゾーン研究会

### 「ヘルスケア研究会」の開催について

時下、貴社にはますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、近年、各種センサの小型化・軽量化から、常時装着していても身体に負担にならないウェアラブル機器の開発・普及が急速に高まっています。また、スマートフォンなどネットワークへの接続により、計測データの高度な解析・蓄積が可能となり、個人の運動や健康を管理できるヘルスケアデバイスとして応用や高機能化が進んでいます。

つきましては、県内の技術・研究者を対象に、ウェアラブル衣料用素材や機器の開発状況並びに今後の展望について、下記のとおり研究会を開催いたします。

ご多忙の折とは存じますが、多数ご参加いただきますようご案内申しあげます。

#### 記

1. 日 時 平成 29 年 3 月 1 日（水曜日） 13：30～16：00
2. 会 場 工業技術センター生活工学研究所 ホール（南砺市岩武新 35-1）
3. 内 容

講演①「ウェアラブルデバイスには必要不可欠な『伸びても切れない配線』」

カジナイロン株式会社 グループ新規事業推進室

吉村 貫生 氏

当社の繊維加工技術を応用して伸縮配線を開発致しました。金属線を編み構造にすることで十分な伸縮性を有し、特殊加工により伸縮時の抵抗変化ノイズがほとんど発生しません。カラーリングや配線の幅、配線の本数などお客様の用途に合わせたご提案ができます。

講演②「心拍センサ IoT を活用した新しいサービスとクラウド運用による家庭の心電計」

ユニオンツール株式会社 常務執行役員

センサ測定器開発本部長 兼 三島研究所所長

小林 末呉 氏

スマートフォンやタブレット端末が広く認知された現在、手で持って使用する時代から体に身につけて使用するウェアラブルデバイスへと移行しつつあります。当社では人間のバイタルデータに着目し、当社で製品化したウェアラブル心拍センサをご紹介します。さらに、モノとインターネットの融合を目指した次世代 IoT 機器をご提案します。

4. 参加費 無料
5. 申込方法 2月24日（金）までに、別紙様式に記入の上 Fax にて送付いただくか、必要事項を記載した E-mail を送信願います。
6. 申込み・問合せ先  
工業技術センター生活工学研究所（〒939-1503 南砺市岩武新 35-1）  
担当：上野、浦上 Tel. 0763-22-2141 Fax. 0763-22-4604  
E-mail: ueno@itc.pref.toyama.jp

-----

「ヘルスケア研究会」参加申込書

参加を希望の方は、平成29年2月24日(金)までに申込書をFAX(0763-22-4604)いただくか、必要事項をE-mail(担当:上野 ueno@itc.pref.toyama.jp)にて連絡下さい。

会社名/団体名: \_\_\_\_\_

住 所: \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX番号 \_\_\_\_\_

所属部署	役 職	氏 名	メールアドレス

備考

- 1 本申込書に記載された個人情報は、受講者の確認や、やむを得ない事情により、日時、会場の変更があった場合にその連絡を行うために提出していただくものです。
- 2 また、本申込書に記載された個人情報を、参加者名簿(会社名・受講者氏名のみ)の形で講師に提供する予定です。提供することに同意されない場合は、次の□欄にチェック願います。  
 同意しない

なお、本状の宛先に間違い・修正・追加等がございましたらお手数でも申込の有無に関わらず、本状に修正・記入の上ご返送いただきますようお願いいたします。